








実習先	つるおかユースホステル(山形県鶴岡市)27年度
目的・テーマ	地域の魅力発見・発信に寄与する学習活動ー現場の人々と分かち合える学習実践を求めてー
目的・概要	受講学生・実習先の問題意識・背景・目的等 実習先は、自然豊か食文化も体験できる場所。しかし、都会育ちの受講生は、小さい頃にガールスカウトに所属していたが、ボランティア活動や地域貢献活動が主で、自然にも食文化にも強い関心を持っていたかという、必ずしもそうではなかった。大学で専攻している出版編集(雑誌制作)の視点から、実習先に寄与できるようなパンフレット制作を目的として設定した。
	概要 4泊5日の日程で実施。朝は食事や自然についての対話、日中から夜にかけて鶴岡市、またその周辺地域の観光や社会教育関連施設へ見学。写真を撮ったり、資料を見たり、その場所についての話を聞いたりして、成果報告用の資料を収集。ユースホステルによる日常の活動と、旅と学習について理解を深めました
分野	教育・環境・まちづくり(キーワード: 食事 地域の自然文化 学習支援者とコミュニケーション)
形態・期間・人数	短期集中・5日間/人数1人
方法	講義・見学・観察・参加・AL・S・PBL
プログラム	(事前) 1. 生涯学習概論と実習の接続についての論点整理 各種生涯学習施設の特徴と活動状況を文献資料によって閲覧しながら、実習に必要な知識や技術について、生涯学習概論を踏まえながら論点整理を行う。 2. 実習先ごとの事前調査・準備活動 実習先についてインターネットで情報収集 担当教員の過年度調査活動資料の参照 実習先職員との電話によるヒアリング活動
	(事中) ユースホステルの活動を軸に、地域の自然・文化・様々な学習資源を活用した、以下の3つの内容の調査及び実習を行った。 1) 現地調査ー庄内地域の学習ー 2) 地域に根差した食事と健康を志向してーやまがた伝統野菜とマクロビオティックー 3) 自然・文化ー庄内平野の豊かな環境ー 以上を踏まえて、ユースホステル活動のPR・情報発信に役立つようなパンフレット制作の構想を練り、施設職員と意見交換を行った。
	(事後) 実習オリエンテーション後、豊島区生涯学習施設の文化祭及び大学祭で中間報告。 その後実習終了後にレポートを取りまとめた。要旨は以下の通り。 パンフレット制作による情報発信の提案をもっていた実習生と、実習先との間で取組たいこと、目指すことの相違があり、当初予定通りの取組ができなかった。地域や施設に「寄り添い」学んでいくということの大切さを知った。コミュニケーションを常に意識しながら、様々な知識や技術を引き出し、外から無理強いするのではない形での学習支援方法のあり方について理解を深めた。
方法論上の特記事項	研究室でかねてより調査や研究連携のあった団体において実施。先方の取組に他のスタッフと共に協働し設備提供を受けると共に、研究室調査活動の一環としても位置付けることで、遠隔地でありながらも、予算規模内での実施が実現した。

成果	(学生)	(表、グラフ、数値など定量的成果)
	<p>実習先と受講生のやりたいことが調整できず、事前調査の不足や実習先とのコミュニケーション不足に原因があるのではないかと反省した。</p> <p>一方で、自分が支援しようとする学習者から学び、学習者と共に新たな学びを創出することに取り組む姿勢が求められること、教える—教わるという立場だけでなく、互いに学びを深めていくプロセスを模索していくことの大切さを知ることができた。</p>	
	<p>(受入先)</p> <p>自然や農村文化への愛着、理解を深める一助になったことが成果の一つ。環境問題など政治・社会的にさらに大きな問題・課題と接続できることが望まれる。</p>	
	<p>(その他、地域住民、連携先等)</p>	

実施イメージ	
 <p>実習先の選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> 候補地から実習地を決定する
 <p>事前調査とプログラム計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> インターネット等での情報収集やコーディネーターからのアドバイスをもとに、実習課題(テーマ)を設定し、実習計画を立案する
 <p>実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画したプログラムを実施するとともに、実習先で提示されたプログラムを体験する
 <p>成果のとりまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの内容を振り返りながら成果報告をまとめる(活動紹介パンフレットを作成)
 <p>発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成果報告をまとめたものを使いながら、自分の実習について発表する(地域文化祭、大学祭等)

資料・写真等	
	<div data-bbox="319 1601 1069 1859">  </div> <div data-bbox="1085 1590 1420 1971">  </div> <p>上 実習活動を基に試作した施設PRパンフレット 右上 ユースホステルの夕食 右下 ユースホステルの朝食 玄米菜食のマクロビオティックによる食事提供や食育活動を行っている。</p>

実施主体関係情報	
	<p>大正大学出川真也研究室 https://degawaken.com/</p>